



2019年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年12月10日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 2018年12月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期第2四半期の連結業績(2018年5月1日～2018年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第2四半期	15,336	9.3	2	—	92	—	47	—
2018年4月期第2四半期	14,026	11.4	△302	—	△253	—	△122	—

(注)包括利益 2019年4月期第2四半期 △114百万円 (—%) 2018年4月期第2四半期 △62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第2四半期	9.34	—
2018年4月期第2四半期	△24.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年4月期第2四半期	34,784	11,891	34.2
2018年4月期	29,508	12,106	41.0

(参考)自己資本 2019年4月期第2四半期 11,891百万円 2018年4月期 12,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2019年4月期	—	0.00	—	—	—
2019年4月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年4月期の連結業績予想(2018年5月1日～2019年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,100	3.7	1,050	23.7	1,150	19.2	740	13.8	146.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年4月期2Q	5,075,500 株	2018年4月期	5,075,500 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年4月期2Q	31,273 株	2018年4月期	31,268 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年4月期2Q	5,044,228 株	2018年4月期2Q	5,044,385 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「1当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年5月1日から2018年10月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益や所得環境に一定の改善がみられるなど、緩やかな回復基調を持続しておりますが、通商問題の動向や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中、当社グループは、安全・安心かつおいしさの追求に重点をおいた包装米飯び包装餅の適正価格での安定供給に努めることを基本に、お客様の消費動向を捉えながら多様化するニーズに対応した販売活動を行ってまいりました。

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別における販売の動向は以下のとおりであります。

包装米飯製品では、日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てごはんを再現できる利便性に加え、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の安全・安心意識にマッチし、引き続き堅調に推移いたしました。その結果、包装米飯製品の売上高は102億84百万円(前年同期比10.8%増)となりました。なお、発売から昨年30周年を迎えた「サトウのごはん新潟県産コシヒカリ」が長年に渡りお客様からご愛顧を頂いてきた結果、「バックごはん」というカテゴリーを創出した商品として評価を頂き「2018年グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」を受賞致しました。

包装餅製品では、当社グループ独自の「ながモチフィルム」(酸素吸収機能をもつ透明な個包装フィルム)をよりいっそうお客様に認知して頂けるよう、新しいCMキャラクターに「りんか&あんな」(SNSで50万人を超えるフォロワーを誇る双子の小学校1年生)を起用した新CM「おいしさのしるし篇」を全国放映するなど、販売活動に取り組みました。また、新商品として、最高級まる餅の提案として「サトウのまる餅 至高の餅 新潟県魚沼産こがねもち300g」「サトウのまる餅 至高の餅 滋賀県産羽二重糯300g」、鍋料理に最適な商品として「サトウの切り餅 鍋もち」を発売して、さらなる需要拡大に向けた取り組みを実施いたしました。

「サトウの鏡餅」では、外装パッケージを従来の赤色を基調としたものから一新して、華やかなゴールド色やプラチナ色を採用し、より豪華さを演出するとともに、店頭売り場でも存在感を示す大幅なリニューアルを実施しました。また、当社グループのうさぎもちでも昨年発売し好評を頂いた「あんこ餅」入り鏡餅の商品拡充を行うなど、年末の最需要期に向けて取り組みを行いました。その結果、「ながモチフィルム」が認知されてきた効果もあり包装餅製品の売上高は50億34百万円(前年同期比6.5%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高はその他18百万円(同5.6%減)を加えた153億36百万円(同9.3%増)となりました。

利益面につきましては、物流費の増加および販売量増加にともなう販売促進にかかる費用等が増加しましたが、売上高の増加に伴う売上総利益が増加した結果、営業利益は2百万円(前年同四半期営業損失3億2百万円)、経常利益は92百万円(同経常損失2億53百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は47百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失1億22百万円)となりました。

なお、当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は347億84百万円となり、前連結会計年度末に比較し52億76百万円増加いたしました。これは、原材料及び貯蔵品(前連結会計年度末比10億94百万円減)並びに仕掛品(同6億41百万円減)は減少したものの、受取手形及び売掛金(同25億73百万円増)、商品及び製品(同40億49百万円増)の増加が主な要因となっております。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は228億93百万円となり、前連結会計年度末に比較し54億91百万円増加いたしました。これは、長期借入金(前連結会計年度末比7億72百万円減)が減少したものの、運転資金としての短期借入金(前連結会計年度末比65億50百万円増)の増加が主な要因となっております。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比較し、配当金の支払及びその他有価証券評価差額金の減少により2億15百万円減少し、118億91百万円となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年6月11日に公表いたしました2019年4月期第2四半期累計期間(2018年5月1日～2018年10月31日)の業績予想値と、本日公開の実績値に差異が生じました。詳細につきましては、本日公表の「2019年4月期第2四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期(2018年5月1日～2019年4月30日)の業績予想については、現時点では変更ありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,269,742	1,944,877
受取手形及び売掛金	5,641,646	8,215,201
商品及び製品	1,786,374	5,836,338
仕掛品	916,632	275,378
原材料及び貯蔵品	3,352,241	2,257,534
その他	75,752	187,046
貸倒引当金	△4,520	△6,400
流動資産合計	14,037,870	18,709,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,407,601	3,366,154
機械装置及び運搬具（純額）	4,912,394	4,853,550
土地	2,347,426	2,347,426
その他（純額）	426,189	1,306,257
有形固定資産合計	11,093,610	11,873,389
無形固定資産	115,225	101,323
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	2,488,949	2,474,159
その他	1,793,308	1,647,898
貸倒引当金	△25,050	△25,050
投資その他の資産合計	4,257,207	4,097,007
固定資産合計	15,466,043	16,071,720
繰延資産	4,478	3,256
資産合計	29,508,393	34,784,954

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,515,522	1,442,648
短期借入金	2,600,000	9,150,000
賞与引当金	355,064	502,272
その他	5,431,373	5,332,653
流動負債合計	9,901,961	16,427,575
固定負債		
社債	564,000	547,000
長期借入金	5,280,050	4,507,364
引当金	252,224	55,599
退職給付に係る負債	1,046,560	1,022,383
その他	356,773	333,272
固定負債合計	7,499,608	6,465,619
負債合計	17,401,569	22,893,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	10,639,263	10,585,471
自己株式	△35,901	△35,920
株主資本合計	11,653,136	11,599,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	724,536	544,846
退職給付に係る調整累計額	△270,850	△252,413
その他の包括利益累計額合計	453,686	292,432
純資産合計	12,106,823	11,891,758
負債純資産合計	29,508,393	34,784,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)
売上高	14,026,188	15,336,981
売上原価	8,631,711	9,346,034
売上総利益	5,394,476	5,990,947
販売費及び一般管理費	5,696,503	5,988,883
営業利益又は営業損失(△)	△302,026	2,063
営業外収益		
受取利息	95	92
受取配当金	7,453	8,231
受取賃貸料	94,770	94,730
その他	87,967	106,844
営業外収益合計	190,285	209,898
営業外費用		
支払利息	44,183	34,940
賃貸費用	49,148	41,083
その他	48,015	43,789
営業外費用合計	141,347	119,812
経常利益又は経常損失(△)	△253,088	92,149
特別利益		
固定資産売却益	298	5,670
補助金収入	51,400	—
特別利益合計	51,698	5,670
特別損失		
固定資産除却損	23,309	—
特別損失合計	23,309	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△224,699	97,819
法人税、住民税及び事業税	22,463	81,696
法人税等調整額	△125,064	△30,968
法人税等合計	△102,600	50,727
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△122,098	47,092
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△122,098	47,092

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△122,098	47,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,931	△179,689
退職給付に係る調整額	18,601	18,436
その他の包括利益合計	59,532	△161,253
四半期包括利益	△62,566	△114,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62,566	△114,161
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。